



▲会場のあちこちで和やかに  
▼話し込むようすが見られました



5/24  
各所でお茶会が開かれています

村の社会福祉協議会では、避難先各所でお茶会を開いています。借り上げ住宅入居者を対象とするお茶会も3月末から始まり、この日は福島市内で初めて、飯野学習センターで開かれました。

参加者は、再会した顔見知りや互いの近況報告をするなどして笑顔を見せていました。会話をはずませていた草野澄江さん（飯樋町）と西尾ツネさん（二枚橋）も旧知の仲。草野さんは「西尾さんとは避難前に会って以来1年ぶり。こうしていろいろな事を遠慮なく話せるっていい

ですよね」と、西尾さんは「村の人の顔を見るとほっとします」と話していました。

また、この日は、血圧測定やボランティアによるハンドマッサージもあり、ゆつたりとマッサージを受けた斉藤明子さん（深谷）は「とても気持ちがよくて、来てよかったです」と晴れやかでした。

こうしたお茶会は、今後も継続して開催されるといわれています。開催の案内は、お知らせ版に掲載されます。なお社会福祉協議会（☎024・56213622）にも気軽にお問い合わせください。

## 「鹿沼さつき祭り」と 協賛花火大会への招待

5/26

全国一のサツキの産地である鹿沼市から「鹿沼さつき祭り」に招かれて、村民45人が当地を訪れました。迎いのバスに乗り会場に到着した一行は、色とりどりに咲き誇るサツキを鑑賞。その後は「まちの駅」に立ち寄り名物の「にらそば」を食べ、花火大会会場の黒川河川敷へ。花火大会では特設の招待席で、次々と打ち上げられる花火を満喫しました。

また、参加者の中には鹿沼市に一時避難していた人もいて、面会した市長に支援への感謝を伝えたり、避難所でボランティアに携わっていた人たちと各会場でも再会し交流しました。



▲満開のサツキの前で笑顔も咲きました

にらたっぶりの「にらそば」▶



## 県警主催の交通安全教室が 行われました



◀さまざまな状況を想定して  
横断の仕方を確認しました

5/23

5/24

福島県警察本部が主催する交通安全教室がいちばん館で行われ、見守り隊の隊員257人が参加しました。参加者は一人ひとりが、スクリーンに映し出された車の往来を見ながら模擬道路を実際に歩き、普段の横断・歩行に潜む危険性について講師からアドバイスを受けました。スクリーンの映像には、見通しの悪い場所や雨天時を疑似体験できる内容のものもあり、また反射材も実際に身につけて有効性を確認するなど、参加者は体験的に交通安全の知識を深めていました。

## 5/24 原子力損害賠償についての弁護士講演会



◀専門用語も分かりやすく  
説明されました

東京電力に請求する損害賠償について、希望者から個別に相談を受ける弁護士相談会（無料・要予約）が5月下旬から計10回の予定で行われています。

それに先立ち、弁護士の鈴木芳喜さんの講演会が飯野出張所の会議室で開催されました。

鈴木さんは講演で、原子力損害賠償の法律による裏付けや、「指針」「追補」などの用語を分かりやすく解説。さらには「原子力損害賠償紛争解決センター」の利用の仕方や、賠償問題の今後の見通しについても話しました。講演後の質疑応答では、現在抱える問題について具体的に質問する人もあり、鈴木さんは、請求内容に事故との相当因果関係が認められるかどうかなど、事例を交えながら解説しました。

▶福島市在住の鈴木さんは村の顧問弁護士でもあります

